

MT マニュアルトランスミッション

[点検・脱着]

目次

作業上の注意及び準備品	MT _E -2
注意	MT _E -2
一般計測機器	MT _E -2
油脂及びその他	MT _E -2
トランスミッションASSY	MT _E -3

MT

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused


作業上の注意及び準備品

注意

- ミッションオイルは再使用しない。
- 脱着時、トランスミッション内にゴミやホコリ等の異物を混入させない。
- ボルト及びナットの締め付けは、トルクレンチを使用する。

準備品

特殊工具

名 称	用 途	備 考
ピンポンチ KV321 01000 先端径：φ4mm	 ZZA0515D	リテーニングピン脱着 既設

一般計測機器

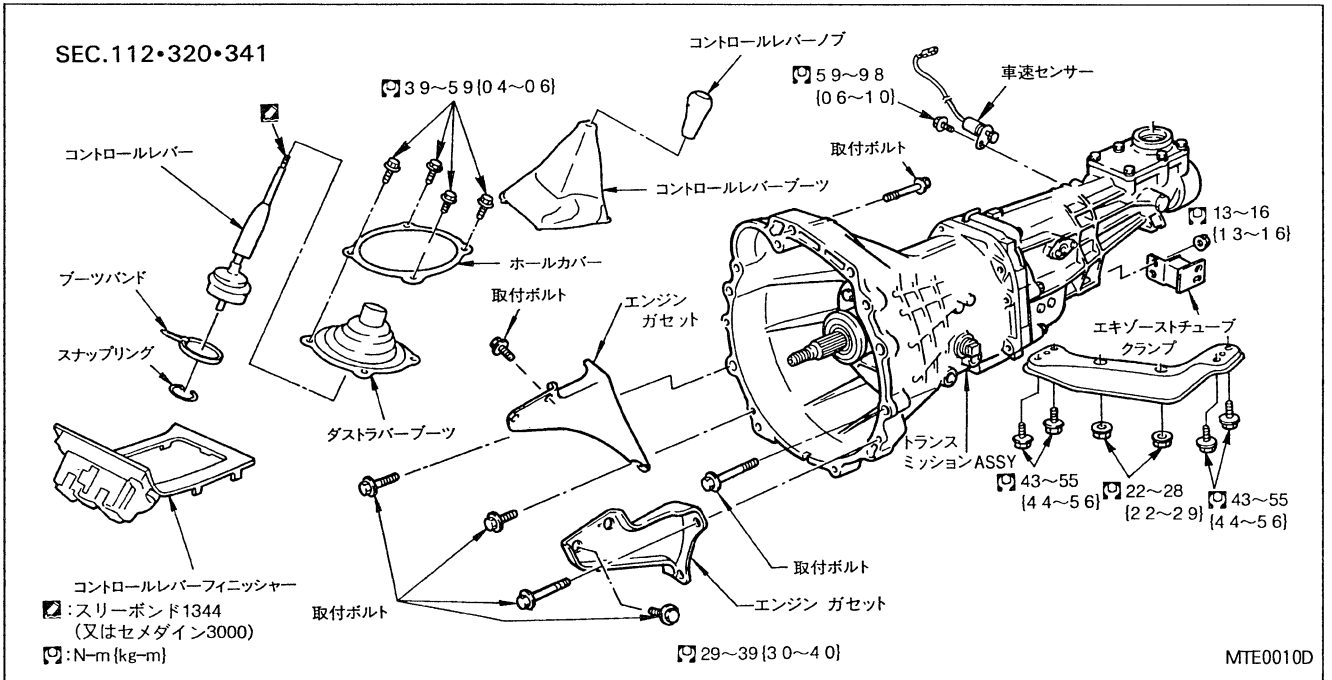
名 称	用 途	備 考
ダイアルゲージ シックネスゲージ	ボークリング点検	既 設

油脂及びその他

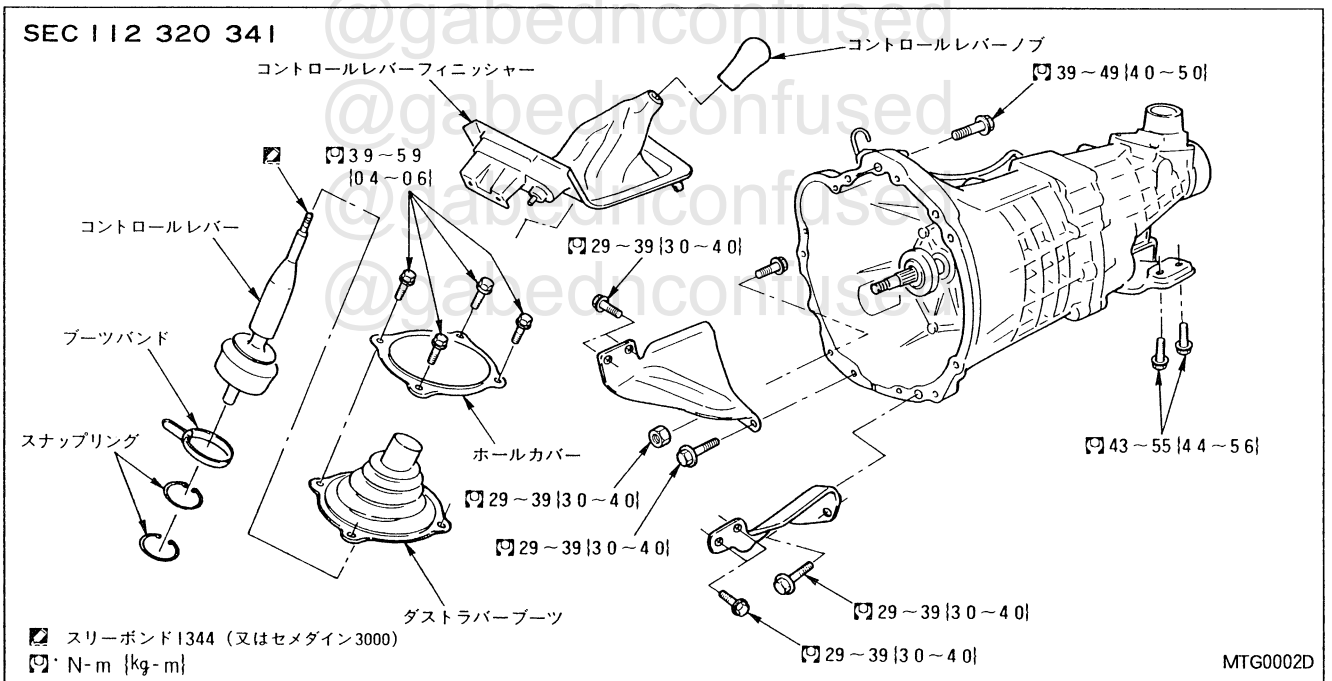
名 称	用 途	備 考
ニッサンミッションオイル MP-G スペシャル75W-90	分解時給油	既 設

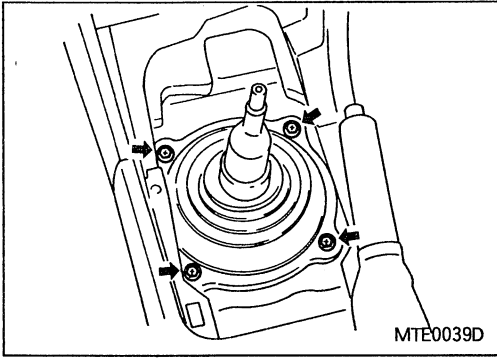
トランスミッションASSY

FS5W71C



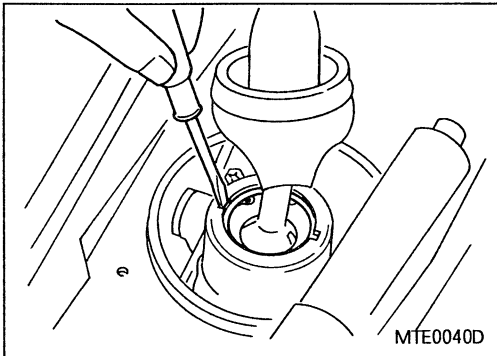
FS5R30A



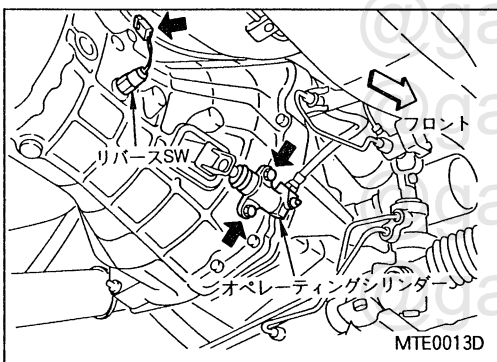


取り外し

1. コントロールレバーノブを取り外す。
2. コントロールレバーフィニッシャーを取り外す。
3. ホールカバー取付ボルト（4本）を取り外す。
4. ダストラバーブーツを持ち上げコントロールレバーブーツバンドを取り外す。



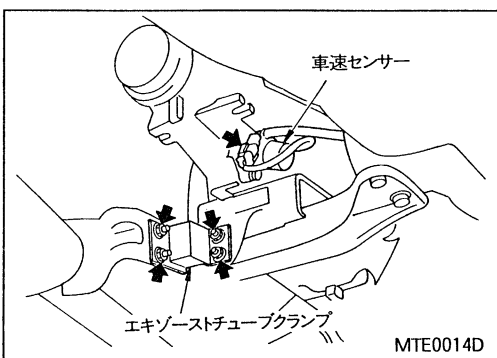
5. コントロールレバーのダストカバーを上方に押し上げ、マイナスドライバーを使用して、スナッピング（2本）を取り外す。
6. コントロールレバーをASSYで取り外す。



7. スターターモーターを取り外す。
（「EEL編スターターモーター」の項参照）
8. クラッチオペレーティングシリンダーを取り外し、針金等で邪魔にならない所に吊るしておく。
（「CL編クラッチコントロール」の項参照）

注意：作業中はクラッチペダルを絶対に踏まないこと。

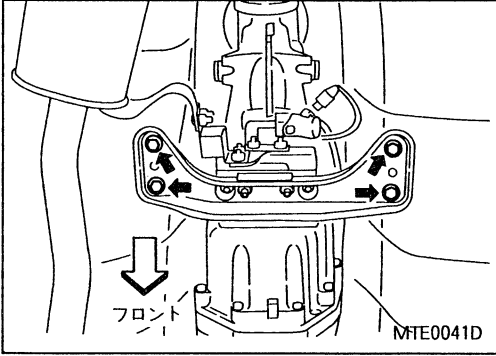
9. プロペラシャフトを取り外す。（「MA編主な点検調整要領プロペラシャフト」の項参照）
10. リバースランプスイッチ及びニュートラルスイッチのハーネスコネクターを分離する。



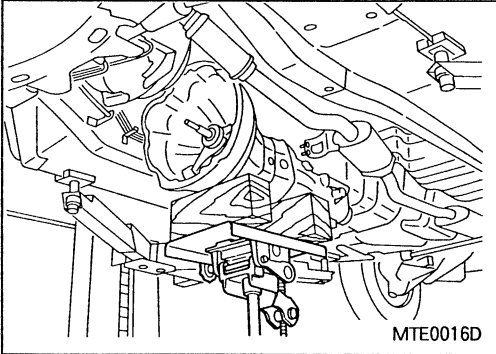
11. 車速センサーのハーネスコネクターを外す。
12. エキゾーストチューブクランプを取り外す。

トランスミッションASSY

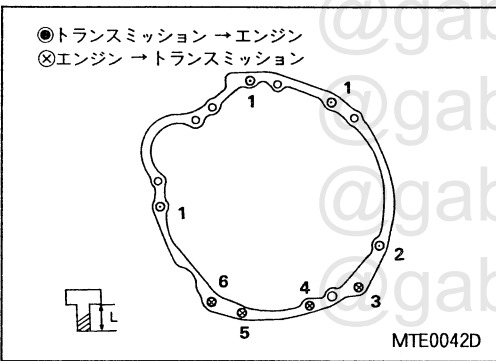
取り外し (続き)



13. トランスミッション下部に、ミッションジャッキをあてがう。
14. リヤエンジンマウントを車両より取り外す。



15. エンジンガセットを取り外す。
16. トランスミッション取付ボルトを取り外す。
17. ミッションジャッキを下げ、トランスミッションASSYを車両より取り外す。

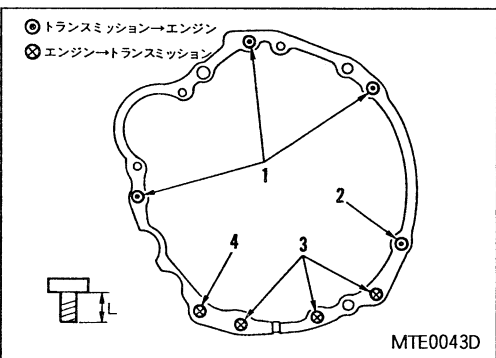


取り付け

- 取付要領は、取り外しの逆の手順で行う。
- トランスミッションをエンジンに取り付けるときは、取付ボルトを下記の基準で取り付ける

RB20Eエンジン搭載車

ボルトNO.	1	2	3	4	5	6
本数	3	1				
首下長さL(mm)	57	63	60	25	40	30
締付トルク (N-m {kg-m})	39 ~ 49 {4.0 ~ 5.0}		29 ~ 39 {3.0 ~ 4.0}			



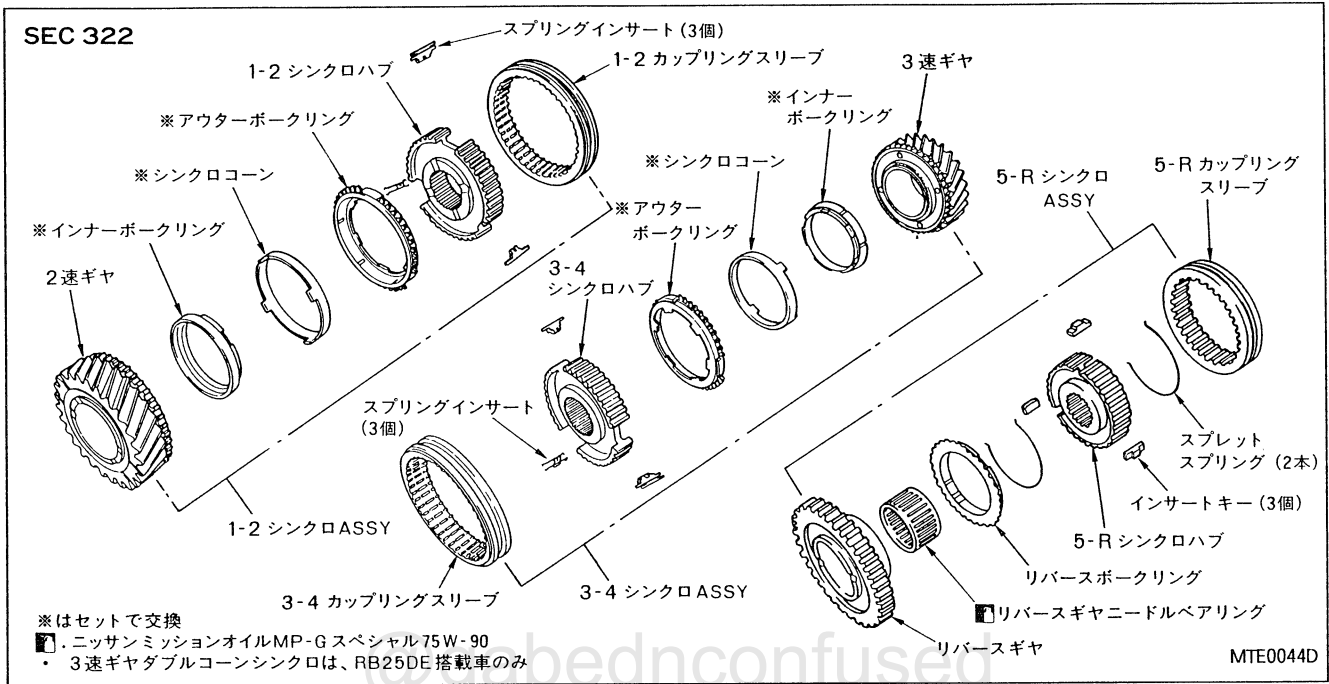
RB25DETエンジン搭載車

ボルトNo.	1	2	3	4*
本数	3	1	3	1
首下長さL(mm)	57		25	30
締付トルク (N-m {kg-m})	39 ~ 49 {4.0 ~ 5.0}		29 ~ 39 {3.0 ~ 4.0}	

*印は、ナット側でトルクを測定する。

分解

- 分解要領は、「マニュアルトランスミッションFS5W71C型整備要領書 (A261B06)」を参照。

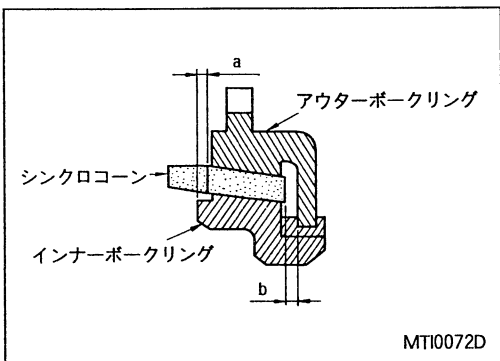


点検

下記要領で2速ギヤ及び3速ギヤダブルコーンシンクロのアウターボークリング、インナーボークリング及びリバースシンクロのリバースボークリングのクリアランス点検を行う。

1-2シンクロ及び3-4シンクロASSY

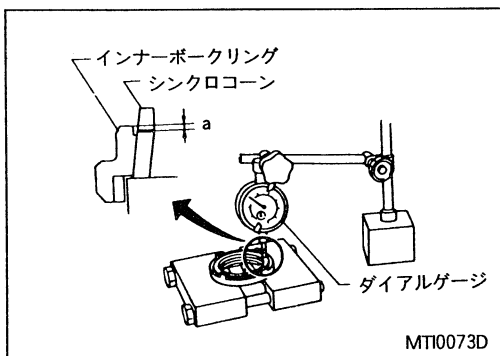
注意： 限界値を外れる場合は、クリアランスa及びbを管理しているため、アウターボークリング、コーン及びインナーボークリングをセットで交換する。



1. ダイアルゲージを使用してクリアランスaを対辺2箇所以上で測定し、平均値を求める。

基準値

クリアランス a :	新品時	0.60 ~ 1.1 (mm)
	: 限界値	0.2以下 (mm)

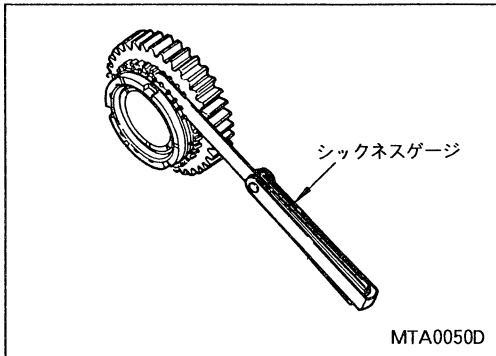
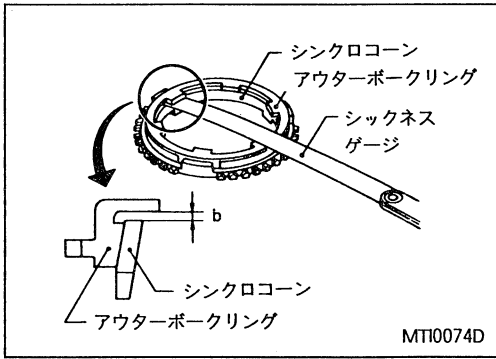


点検 (続き)

2. シックネスゲージを使用してクリアランスbを対辺2箇所以上で測定し、平均値を求める。

基準値

- クリアランス a : 新品時 0.7 ~ 0.9 (mm)
: 限界値 0.2以下 (mm)

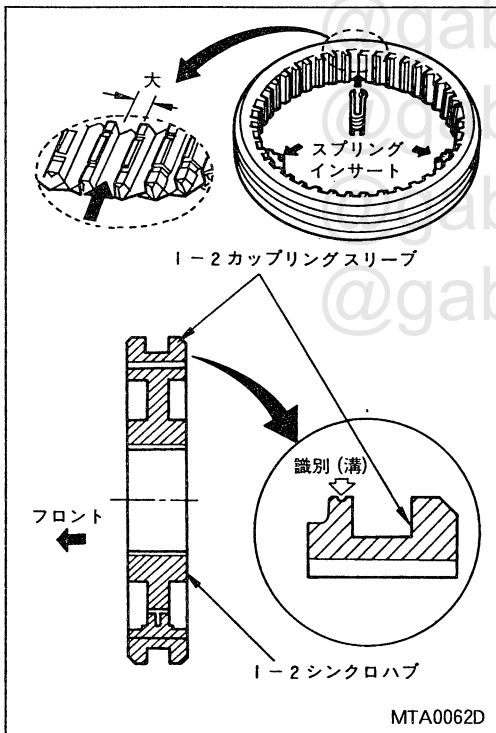


リバースシンクロASSY

リバースベアリングの背面クリアランスをシックネスゲージを用いて測定する。限度値を越えるものは交換する。

基準値

- 背面クリアランス : 新品時 1.1 ~ 1.55 (mm)
: 限界値 0.7以下 (mm)



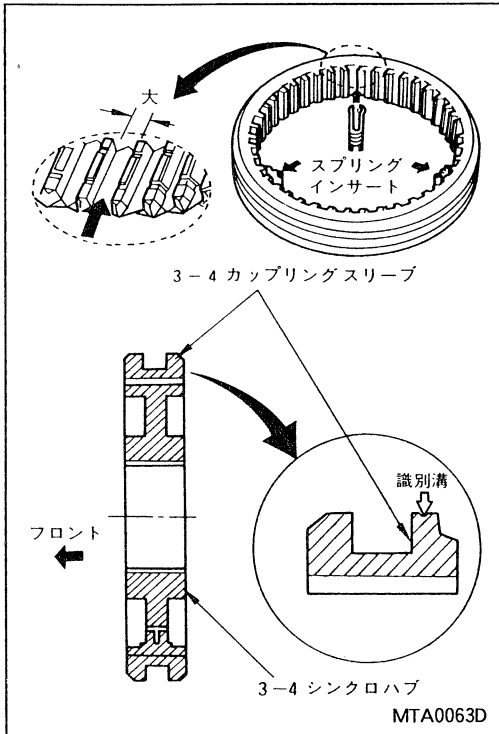
組み立て

1-2速シンクロASSY

- 左図のように、1-2速シンクロハブにカップリングスリーブ及びスプリングインサートを組み付ける。

注意 : • スプリングインサートは、カップリングスリーブの左図位置(凹部)に組み込む。
• カップリングスリーブは溝をフロント側にして組み付ける。
• ハブ及びカップリングスリーブは、手でスムーズに動くことを確認する。

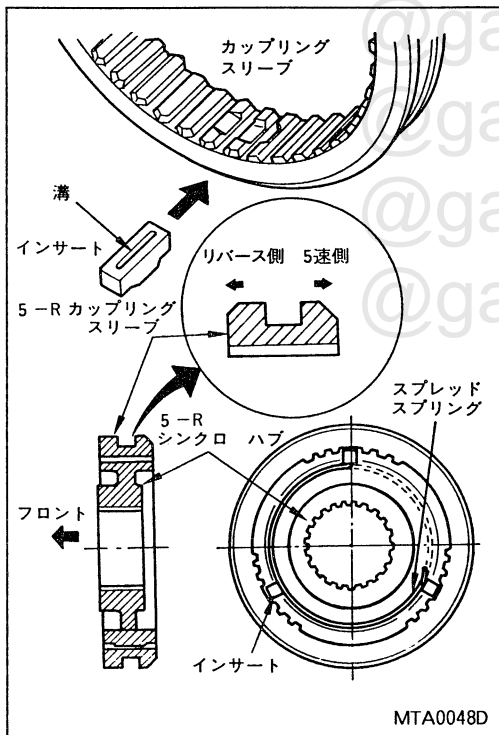
組み立て (続き)
3-4速シンクロASSY



- 左図のように、3-4速シンクロハブにカップリングスリーブ及びスプリングインサートを組み付ける。

- 注意 :
- スプリングインサートは、カップリングスリーブの左図位置 (凹部) に組み付ける。
 - カップリングスリーブは溝をフロント側にして組み付ける。
 - ハブ及びカップリングスリーブは、手でスムーズに動くことを確認する。

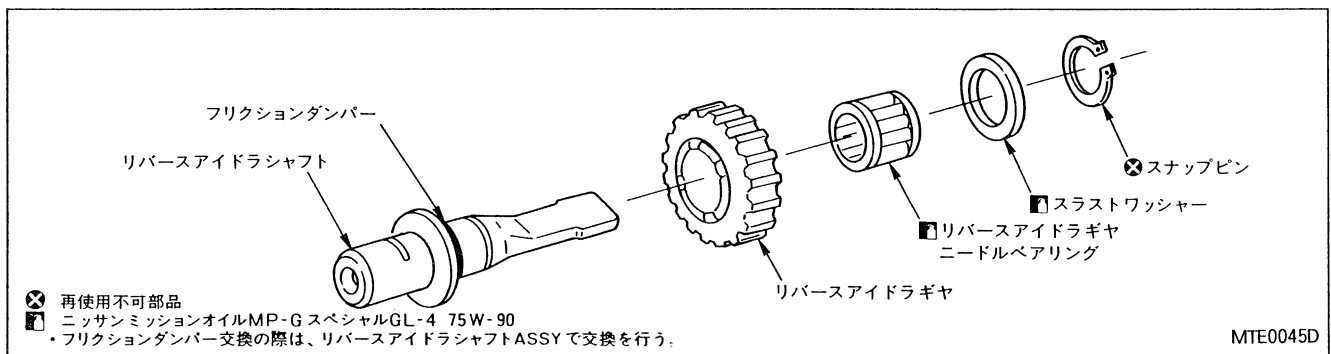
5-リバースシンクロASSY



- 左図のように、5-Rシンクロハブにカップリングスリーブ、インサート及びスプレッドスプリングを組み付ける。

- 注意 :
- インサートは、カップリングスリーブの左図の位置 (凹部) に組み込む。
 - スプレッドスプリングの端 (直角に曲がっている側) は、インサート内側の溝に掛ける。
 - 表、裏2本のスプレッドスプリングの端 (直角に曲がっている側) は、同じインサートに掛けない。
 - シンクロハブの取付方向は左図のとおりとする。
 - カップリングスリーブはテーパ面の広い方を5速側として組み付ける。
 - ハブ及びカップリングスリーブは、手でスムーズに動くことを確認する。

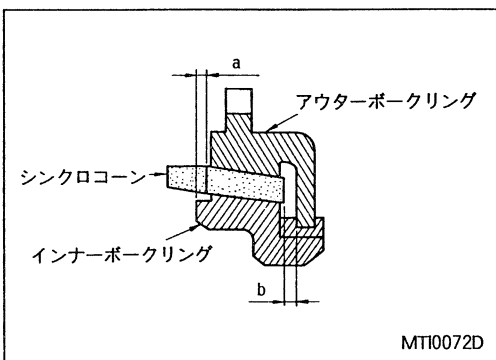
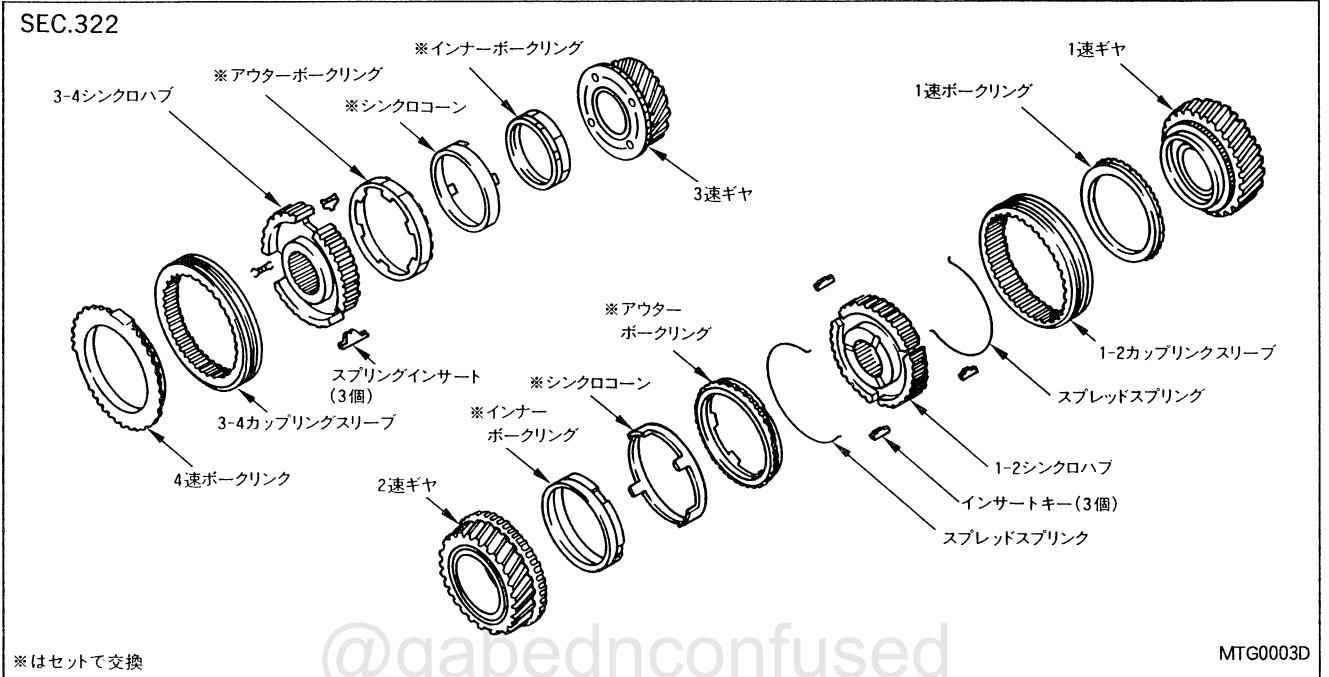
フリクションダンパー



MTE0045D

分解

- 分解要領は、「マニュアルトランスミッションFS5R30A型整備要領書 (A261B06)」を参照。

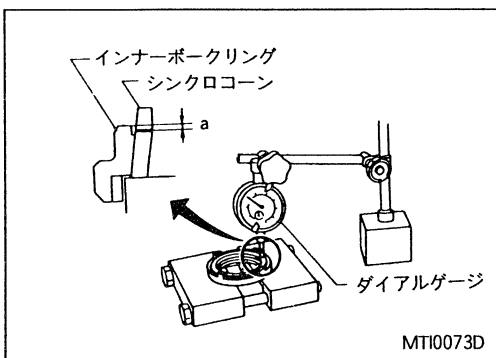


点検

下記要領で2速ギヤ及び3速ギヤダブルコーンシンクロのアウターポーリング及びインナーポーリングのクリアランス点検を行う。

1-2シンクロ及び3-4シンクロASSY

注意： 限界値を外れる場合は、クリアランスa及びbを管理しているため、アウターポーリング、コーン及びインナーポーリングをセットで交換する。



1. ダイアルゲージを使用してクリアランス a を対辺2箇所以上で測定し、平均値を求める。

基準値

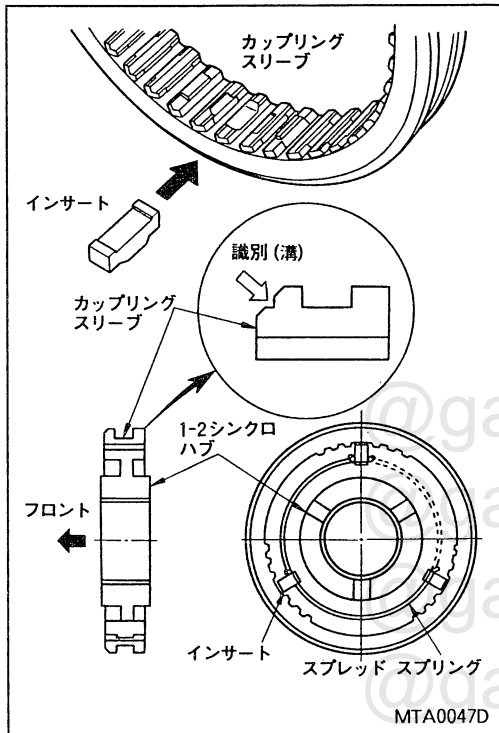
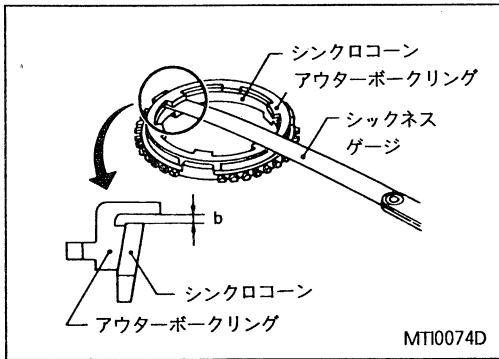
クリアランス a	新品時	0.60 ~ 1.1 (mm)
	限界値	0.2以下 (mm)

点検 (続き)

2. シックネスゲージを使用してクリアランスbを対辺2箇所以上で測定し、平均値を求める。

基準値

クリアランス b : 新品時 0.7 ~ 0.9 (mm)
 : 限界値 0.2以下 (mm)



組み立て

1-2速シンクロASSY

- 左図のように、1-2速シンクロハブにカップリングスリーブ、インサート及びスプレッドスプリングを組み付ける。

- 注意 :
- スプレッドスプリングの端 (直角に曲がっている側) は、インサート内側の溝に掛ける。
 - 表・裏2本のスプレッドスプリングは、同じインサートに掛けない。
 - インサートは、カップリングスリーブの左図位置 (凹部) に組み込む。
 - カップリングスリーブは溝をフロント側にして組み付ける。
 - ハブ及びカップリングスリーブは、手でスムーズに動くことを確認する。

3-4速シンクロASSY

- 左図のとおり、3-4速シンクロハブにカップリングスリーブ及びスプリングインサートを組み付ける。

- 注意 :
- スプリングインサートは、カップリングスリーブの左図位置 (凹部) に組み付ける。
 - シンクロハブの取付方向は左図とおりとする。
 - カップリングスリーブは溝をリヤ側にして組み付ける。
 - ハブ及びカップリングスリーブは、手でスムーズに動くことを確認する。

